

I-3. 研究活動を把握するためのアンケート調査実施の支援

Survey to understand research activities

キーワード Key Word	研究開発人材、研究環境
	Science and technology personnel, Research environment

1. 調査の目的

本業務は、文部科学省科学技術・学術政策研究所（以下、政策研）が実施する「研究活動把握データベースを用いた研究活動の実態把握（研究室パネル調査）」の一環（委託調査）として実施したものであり、研究活動のプロセス及びプロセスにおける因果関係を明らかにするためのデータセットを構築するために実施したものである。

本業務では、継続的に実施する調査の初年度の調査の実施支援のため、データ入力協力者リストの作成、ウェブを用いた研究活動データベースの調査の準備、実施、調査結果の基礎的な集計等を実施した。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

本業務の全体構造は、大きく4つの項目からなる。

①大学部局調査では、調査対象候補者を抽出するために、対象者の選定方針に基づき、大学部局を候補者の選定依頼を行った。次に、研究室パネル調査の準備としてデータ入力システムの導入を図った。③研究室パネル調査の実施支援として、調査案内の送付、調査対応を実施した。また、これら調査結果を踏まえ、④調査結果の基礎的な集計を実施した。

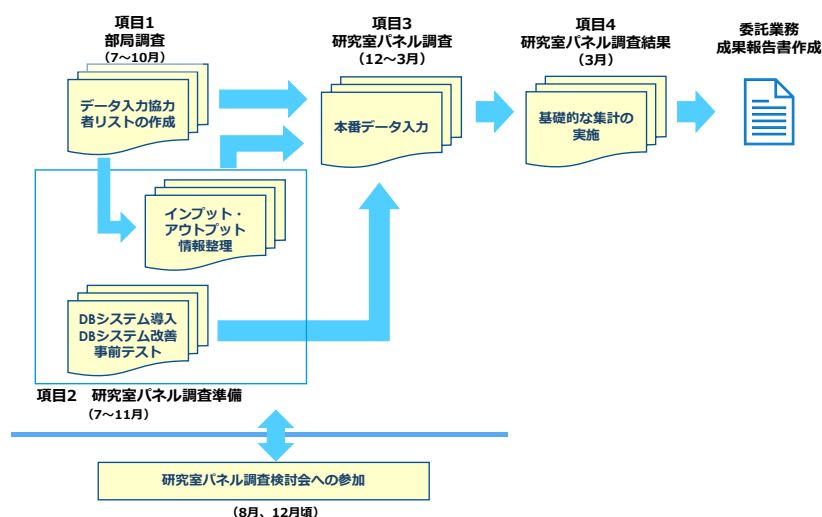


図1 業務のプロセスの全体概要

(2) 調査の内容

① 調査対象候補者の設定

調査対象候補者となる調査の母集団を設定するため、大学部局を対象に情報提供の依頼を実施した。調査対象候補者は、部局別のランダムサンプリングによる抽出と、政策研が指定するサンプリングからなる。調査対象候補者の情報提供にあたっては、セキュリティを確保した専用スト

レンジを設定し、情報の収集を行った。

②データベースの導入

政策研より貸与された「研究活動把握用データ入力システム」（以降、研究活動把握用データベース）をサーバーに導入し、調査対象候補者が、ウェブ上でデータ入力の実施可能な環境を構築した。また、研究活動把握用データベースのテストを踏まえ、改善を図り、入力項目の調整等も実施した。なお、研究活動把握用データベースは、各種データベース等を用いたインプット・アウトプット情報も整理したものである。

③研究室パネル調査の実施支援

研究室パネル調査は、2020年12月から3月かけて実施した。本業務では、調査の案内、問合せ対応、調査の再依頼等を実施した。調査回答依頼の介入を複数回行うことにより、最終的には、約2,500件の回答を収集することができた。

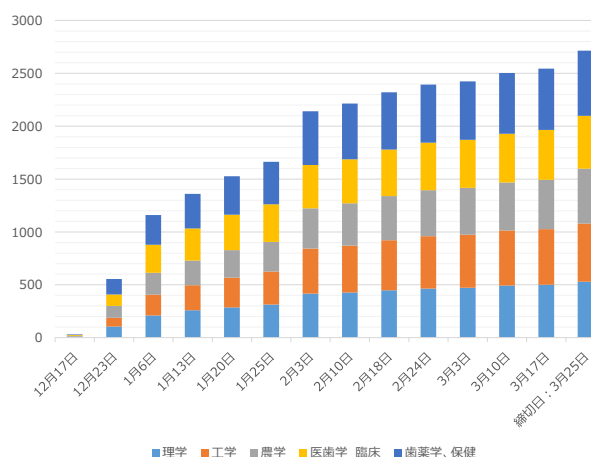


図2 調査サイトへのログイン状況の推移

④調査結果の単純集計

調査結果で得られたデータについては、データ入力者の属性情報、属性別のデータ入力状況等の基礎的な集計を実施した。基礎的な集計では、回答までの傾向、問合せに係る状況、回答者の属性に係る集計等も実施した。

〈主な項目〉

- 属性別の調査対象者数とログイン数、回収数（ログイン率、回収率）
- 週別のログイン状況の推移
- 質問項目別の基礎集計
 - ・ 研究室・研究グループにおける研究手法、加入時点の職位と現在の職位、職位別部下の有無、前任者の有無、前任者の研究テーマの影響等
 - ・ 回答者の研究活動における権限と経験
 - ・ 回答者の職務活動
 - ・ 研究実施上の重視項目（知的好奇心、研究の方向性・方針、基本原理の追求、現実問題の解決、挑戦的な研究への取り組み、注目度の高い研究への取り組み、研究競争、名声、経済的な成功、研究開発資金の獲得、安定した職、等）

(3)主な成果

本業務では、大学部局からの調査対象候補者の抽出により、約3,600名の調査の母集団を構築するとともに、ウェブ上のデータベース入力システムによる調査実施の支援を行った。

本業務を通じて、調査対象者の選定・母集団の形成、オンライン調査における回答群の確保に向けた介入に係る知見を得ている。